



くぎかいだより

NO. 216
発行/北区議会
〒114-8508
東京都北区王子本町1丁目15番22号
TEL(3908)1111(大代表)



ナショナルトレーニングセンター付近の桜並木(西が丘3-15)

平成20年 第1回定例会

各会派の代表質問

平成20年第1回定例会は、2月22日に招集され、29日間の会期で3月21日に閉会しました。

2月22日、25日の2日間にわたり、11名の議員が、財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・一般質問を行いました。2頁〜4頁は、その質問と答弁の要旨を多数会派順に掲載しています。

今回、区長から提出された議案41件、議員から提出された議案7件、陳情1件を議決しました。(5頁掲載)

議会のうごき

12月

議会運営委員会

- 委員会
- ・本会議の運営についてほか

文教委員会(本会議休憩中)

- 委員会
- ・所管事務調査

幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

企画総務委員会(本会議休憩中)

- 委員会
- ・議案審査

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例ほか

議会運営委員会(本会議休憩中)

- 委員会
- ・本会議の運営について

1月

交通環境対策特別委員会

- 視察
- ・北赤羽駅
- 委員会
- ・視察のまとめ

28日

防災対策特別委員会

- 視察
- ・神田川環状7号線地下調節池
- ・神田川取水施設
- 委員会
- ・視察のまとめ

1日

区民生活委員会

- 委員会
- ・東京都後期高齢者医療広域連合議会の議案について

基本計画策定に新たなデザインを 危機管理と防災計画について

自由民主党議員団

藤田 隆一



問 次の基本計画策定には区民ニーズの把握が最も重要である。区民の夢を大切にして30年後を想定した新たなデザインが必要と考える。

答 計画策定には、区民ニーズの把握や検討会の立ち上げ等、区民とともに議論しながら、夢と希望の実現を具体的な形にしていきたい。区の義務である地域防災計画が修正されるにあたり、行政側の責



王子駅南口駅前広場の整備

務も具体化し説明すべきでは。

答 区の責務は、災害予防・事前対策、災害応急対策、復旧・復興等、計画の中で具体的に明記していく。

問 新たに区内の駅周辺等、市街地再開発事業による区のみちづくりの改善効果をどう想定するか。

答 土地の合理的かつ健全な高度利用を図ることができ、区内の駅周辺等、他地域への波及効果が期待できる有効な事業手法と考える。

問 区民のために区は、どのような体制と立場でどこまで都区のある方

検討委員会へ関与できるのか。

答 住民サービス向上のために住民に身近な事務は特別区が担い、財源は配分させるという姿勢で23区一体となり都と議論を戦わせたい。

問 区民の生活に密着する犬が自由に走り回るドッグラン公園は必要な設備と考え、環境政策の一つとして西が丘都道用地活用で整備を。

答 強い要望もあるドッグランは施設整備とともに、飼い主・地域等の協力が不可欠。人と犬が共生できる公園の実現を目指していく。

独自のセーフティネット構築を 病院の存続について

公明党議員団

宇野 等



問 国は将来にわたる持続可能な社会保障制度として、障害者自立支援法等を施行したが、区独自のセーフティネットの強化を強く望む。

答 区独自の軽減措置等は20年度も継続し地域生活支援事業の利用者負担の更なる軽減を検討している。

問 区民の健康や安心した生活を守るため危機感を持ち、印刷局病院と北社会保険病院の存続を求め関

係諸機関に積極的働きかけを願う。

答 今後も区議会や医師会とも相談しながら両病院の医療機能確保に向けて全力を挙げて取り組んでいく。

問 ISO14001認証継続を廃止しエコアクション21へ移行する最大メリットを問う。合わせて区民への周知徹底について問う。

答 規格が分かりやすく認証取得等の経費が安く、区が主導的役割を担うことができる。事業者への普及啓発、区民周知を検討していく。

問 少子化に歯止めをかけるため、



国立印刷局東京病院

間断ない子育て支援策が重要である。幼稚園、保育園等の保育料の格差を是正する負担軽減策を問う。

答 施設間で保育料の差が生じているのが現状である。受益と負担のバランス確保の観点から検討する。

問 いじめ等人間関係トラブルが人生に影を落とすことはアンケート結果で明確である。対応の充実を。

答 全児童・生徒に配布したいじめ相談ミニレターを活用するとともに、地域、保護者、関係諸機関との連携を深め充実を図っていく。

後期高齢者医療制度の実施中止を 介護保険制度の早急な改善を

日本共産党北区議員団

福島 宏紀



問 王子東地域では豊島五丁目団地の高齢化が一気に進み、多くの方が介護施設を待ち望んでいる。特養ホーム等の施設整備を求める。

答 適正配置で生じる学校跡地等を活用し、社会福祉法人等への働きかけ等、積極的に誘致を検討する。

問 介護給付費を3年間で84億円余らせたことをどう説明するのか。

答 取りすぎた保険料を返すべきでは



旧清至中学校

問 現介護保険計画で給付費の増加を予測した見積もり等様々な要因で多額の剰余が生じた。剰余は基金の積み立て、保険料軽減への活用等次期計画で具体的に検討する。

問 助産師に受診する方を含めた妊婦健診の無料化、35万円程度の出産手当を拡充すること等、妊娠から出産までの完全無料化を求める。

答 妊婦健診受診券を14回に拡充し、助産院の利用には7万円を限度に助成する予定である。出産育児一時金の上乗せは今後の課題である。

問 二次救急医療機関の拡充と救急指定病院の確保等、保健所・消防署・救急指定医の連携による救急医療体制の改善への取組みを問う。

答 北区内消防署・医療機関・区関係機関で組織する救急業務連絡協議会の活用で体制改善を模索する。

問 北区で働く非正規職員の雇止めをやめ、有給休暇・交通費支給・賃金改定等の待遇改善を求める。

答 非正規職員の報酬、賃金等の待遇は国や他自治体の動向、社会状況を見ながら適切に対応していく。

公的病院の存続と機能強化求める 地球温暖化対策の施策充実を

民主区民クラブ

福田 伸樹



問 二次医療圏におけるベッド数不足の実態は深刻である。印刷局病院と北社会保険病院の存続と機能強化への姿勢を、区長に求める。

答 両病院は区民の健康と福祉を守るためになくはならない施設であり医療機能確保に全力で取り組む。

問 北区における温室効果ガス等の排出量は、家庭・業務及び運輸部門で増加し、削減策の強化が急務

である。排出量の削減策を問う。

答 民生業務部門の取組みが重要と認識し、環境マネジメントシステムの普及や省エネ診断士の派遣等、具体的な抑制策を検討していく。

問 北区が、ISO14001の認証を更新せず、エコアクション21の規格に変更した理由を問う。

答 二酸化炭素の削減には区内事業所の省エネ行動が必要で取組みの一つとしてエコアクション21の普及をあげている。区がまず移行することが普及に効果的と判断した。



東京北社会保険病院

問 生活習慣病予防のため、区民健診が特定健診に変わる。健診結果でメタボ等に該当する区民に対してどのような保健指導を行うのか。

答 健診結果から指導対象者を抽出し、リスクや年齢に応じて積極的支援と動機付け支援グループに分け、生活習慣改善に向け指導する。

問 分譲マンション耐震改修促進のため、助成制度の限度額を一律ではなく中小規模別に設定すべき。

答 きめ細かい限度額設定は、今後他区の様態を含め研究していく。

道徳は健全な心と社会性の育成で 商店街活性化はオーナー会議が鍵

あすか新生議員団

金子 章



問 健全な心とルールを守る社会性の育成があつてこそ道徳教育と考えるが、教育長の所見を問う。

答 今後は区内全中学校での職場体験実施等の成果を生かし、学校、家庭、地域が一体となって健全な心と社会性の育成を図っていく。

問 小中学校で進めている「英語が使える北区人事業」について、更なるレベルアップを求める。



外国人講師による英語活動

問 今後も区独自のカリキュラムの改善や教員研修の充実等に努め、海外交流事業を拡大する。国際感覚豊かな子どもたちを育成すべく一層のレベルアップに努めていく。

問 店舗所有者と店舗経営者が異なる状況の中、商店街活性化のため地権者の協力によるランドオーナー会議の設立促進と組織強化に区の積極的な対応を期待する。

答 会議の設置は各商店会が判断することだが、区も商店街連合会等と連携し、積極的に先進事例等の

情報提供や研修等に努めていく。

問 特別区民税や国民健康保険料納付の公平性を保つため、更に格段の努力が必要と考える。徴収率向上について今後の対策を問う。

答 今後も滞納者との接触機会の増大を図る等努力を続け、収納率の更なる向上を図っていく。

問 他市でも効果を上げているインターネット公売実施の検討を。

答 動産のインターネット公売は話題性があり区の決意を示す有効な方法で、実施に向け研究していく。

5日

企画総務委員会

- 委員会
- ・平成20年区政功労者・徳行者表彰について

13日

議会運営委員会

- 委員会
- ・本会議の運営についてほか

14日

都区制度等調査特別委員会

- 委員会
- ・都区のあり方検討委員会・幹事会についてほか

22日

議会運営委員会

- 委員会
- ・追加予定議案の取扱いについてほか

25日

本会議

- 代表質問ほか
- 一般質問 議案の付託ほか

27日

健康福祉委員会

- 委員会
- ・所管事務調査
- ・東京都北区立あすなろ福祉園分室条例を廃止する条例ほか
- ・請願・陳情審査
- ・医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める意見書提出に関する件ほか

建設委員会

- 委員会
- ・所管事務調査
- ・東京都北区集合住宅の建築及び管理に関する条例ほか

28日

区民生活委員会

- 委員会
- ・所管事務調査
- ・東京都北区後期高齢者医療に関する条例ほか
- ・請願・陳情審査
- ・若者が健康で文化的な生活を営める北区になるための施策を求める件

一般質問

西ヶ原外語大 跡地利用について

商店街活性化と観光振興について



自由民主党
議員団
山田加奈子

問 西ヶ原外語大跡地利用について地域経済が活性化され賑わいがでる一方、新しい住民と地域住民とのコミュニティ形成が課題となる。

答 町会・自治会の活動を紹介する等、加入促進活動を支援していく。

問 商店街への支援事業の利用しやすさを徹底するため、各商店街の現況把握や分析、課題に対しての区の積極的な取り組みを求める。

答 補助金の交付とともに、専門アドバイザーの派遣も合わせた、きめ細かな支援に努めていく。

問 「歩く、学ぶ、体験する」観光を重視し、地域住民参加型で区内観光資源を発掘してみたい。

答 観光振興には区民との協働が重要と考えており、協働による事業の推進について検討していきたい。

問 自主防災組織が自らの防災意識等を高めるための活動を、区としても支援することが大切と考える。

答 地域防災力パワーアップ講座と避難所運営訓練を実施し、地域と世代間の交流も図っている。

くぎかいだよりの配布方法を変更します

今号から、くぎかいだよりを各ご家庭の郵便受けなどに直接お届けする方法に変更します。これまで新聞折込により配布してきましたが、配布業者が直接お届けします。引き続き、地域振興室・図書館などの区施設、区内の駅広報スタンドにも置いてあります。

十条台地域 諸課題について

東十条駅南口駅前広場について



自由民主党
議員団
渡辺かつひろ

問 東十条駅北口改札から岩槻街道までのアクセスへの取組の進捗状況を地域にしっかり示してほしい。

答 エレベーター新設の設計を進めている。今後整備方針を確定する予定で、地域に適宜説明していく。

問 東十条駅南口の跨線橋の耐震性と駅前広場の設置について問う。

答 跨線橋は耐荷力が不足し架替えの必要があるとの診断結果が出た。架替えに併せ駅前広場設置に向けた検討を進めており広場の位置や規模等の方針を定める予定である。

問 利用者の実態に即した介護保険制度に改革する必要があると考える。

答 介護保険制度の趣旨がより良く実現できるように、認定のあり方等を国や都に働きかけていきたい。

問 学校適正配置で、校舎新築まで生徒のクラブ活動の場所確保には努力して欲しい。保護者から理解を得られる具体的な対策を求める。

答 学校の状況を確認し、場所確保に向け可能な限り対応していく。

化学物質過敏症の 対策について

小中学校での対策について



公明党議員団
青木 博子

問 化学物質過敏症対策として区有施設における薬剤の使用基準を明確にして利用者に周知してほしい。

答 過敏症対策も視野に入れて調査を行い、区有施設の薬剤適正使用に係る基準を「シックハウス対策マニュアル」に盛り込んでいく。

問 化学物質過敏症の児童生徒が無事に通学卒業できるように学校での様々な配慮が必要と考える。

答 原因と思われる化学物質を取り除くように努めつつ、引き続き相談を受けながら、一人ひとりの症状に応じた対策を講じていく。

問 ワークライフ・バランスを目指すことが重要だが、区内企業・団体への啓発・推進の取組みを問う。

答 講演会を実施する予定であり、取組の利点やその意義について認識していただけるよう努めていく。

問 障害児の放課後対策について区も積極的に事業の推進を図るべき。

答 都が特別支援学校の活用を積極的に検討する意向を示したので区も実現に向けて取組んでいきたい。

「安全安心のまちづくり」 の強化

浮間地域の諸課題について



公明党議員団
稲垣 浩

問 子どもを犯罪から守ることは地域の最大関心事である。夕焼けチャイムの時間変更等により下校時間に合わせた見守りを強化すべき。

答 放送時刻は変更すべきとの意見もあり、必要に応じてアンケート調査等も実施して対応を検討する。

問 赤羽北地域の課題で浮間橋付近の新河岸川右岸の街灯設置や緑道整備を都へ早急に申し入れるべき。

答 河川通路には更に多くの区民の通行が見込まれる。今後都に対し緑道や街灯整備を要望していく。

問 浮間地域の駅前放置自転車・バイク問題は大きな課題である。JRによるコイン駐輪場や区による駅前ベンチ設置等を検討すべき。

答 今後も自転車放置状況を注視し必要な対策をJRに強く要望する。

問 成年後見制度の利用促進のため、後見人の区民養成講座や低所得者への費用の一部助成等一貫した区民成年後見システムを検討すべき。

答 成年後見を実施する団体の意見を聞きながら今後更に検討する。

北社会保険病院等の 機能拡充を

都・区営住宅の使用承継について



日本共産党
北区議員団
相楽 淑子

問 北区の地域医療を担う北社会保険病院と、併設の介護老人保健施設・さくらの杜の機能拡充について、区は、関係各省等にどのような働きかけを行ってきたのか。

答 北社会保険病院とは情報交換等を行っているが、区議会・医師会とも相談し医療機能存続に努める。都営・区営住宅使用承継制度変

更の撤回と当面の緊急対策を。都は使用承継の特例対象者の範囲を拡大する一部変更を行い、高齢者や障害者等に配慮したと認識撤回を求めることは考えていない。

問 地域生活支援事業の更なる負担軽減と、代筆等のコミュニケーション事業等、障害者支援の拡充を。

答 負担軽減は国の緊急措置実施にあわせ実施を検討する。支援事業の拡充は必要があれば検討する。

問 障害者自立支援法において、新体系に移行した事業所等に区として施設運営の支援を行うこと。

答 事業者の意見、要望を踏まえて区の取組むべき支援策を検討する。

問 「基礎自治体連合」構想について

保険で良い歯科医療の実現を



日本共産党
北区議員団
中川 大一

問 北区基本構想に照らして昨年12月に特別区制度調査会が行った第二次報告をどう評価するのか。

答 行政の一体性からの脱却と「都の区」制度廃止に踏み込んだ大胆な提言で、北区基本構想の自治権拡充の方向に沿うものと考えている。

問 都区制度のあり方について区民意向を調査し、区民、議会、行政とともに23区一体となった新しい運動を再構築していく決意を問う。

答 区民からの意見聴取も必要と考える。都や国の方向を見定め、必要に応じ運動を展開していく。

問 区民の歯科医療の要望を的確に把握し、歯周病の治療・管理等が保険で対応できるように国へ働きかけを。インプラント・セラミック冠等新しい歯科治療に、速やかな保険適用を強く国に求めよ。

答 歯科診療を含め診療報酬は厚生労働大臣が定めることだが、保険者として区民のあるべき歯科医療については強い関心を持って調査・研究していきたい。

文教委員会
○委員会

・所管事務調査
幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例ほか

29日

企画総務委員会
○委員会

・議案審査
東京都北区後期高齢者医療に関する条例ほか

3月

3日

議会運営委員会
○委員会

・本会議の運営について
本会議
○議案の議決

4日

予算特別委員会
○委員会

・総括質疑、議費費
予算特別委員会
○委員会

5日

○委員会

・総務費、公債費、諸支出金
予備費

6日

交通環境対策特別委員会
○説明会

・仮設中間支柱試験的施工の結果報告及び今後の検討について
○委員会

・説明会のまとめ

7日

○委員会

・福祉費、衛生費

10日

議会運営委員会
○委員会

・追加予定議案の取扱いについて

区長提出の議案

- 「条例」
- 東京都北区後期高齢者医療に関する条例（賛成多数）
 - 東京都北区集合住宅の建築及び管理に関する条例（賛成全員）
 - 東京都北区立あすなろ福祉園分室条例を廃止する条例（賛成全員）
 - 東京都北区組織条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 職員の見学休業等に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）
 - 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）
 - 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区滝野川会館条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区立十条台小学校温水プール使用条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区立体育施設条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区とびあ条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区国民健康保険条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区国民健康保険条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区母子福祉応急小口資金貸付条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区立福祉工房条例の一部を改正する条例（賛成多数）
 - 東京都北区手数料条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 「規約」
- 特別区人事及び厚生事務組合規約の一部変更について（賛成多数）
 - 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約（賛成多数）
- 「契約」
- 新型インフルエンザ対策にかかわる防護服セットの購入契約（賛成多数）
- 「予算」
- 平成19年度東京都北区一般会計補正予算（第2号）（賛成多数）
 - 平成19年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算（第2号）（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区一般会計予算（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計予算（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区介護保険会計補正予算（第2号）（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区一般会計予算（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区中小企業従業員退職金等共済事業会計予算（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区老人保健会計予算（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区介護保険会計予算（賛成多数）
 - 平成20年度東京都北区後期高齢者

正する条例（賛成多数）

○東京都北区立児童館条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○東京都北区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○東京都北区立公園条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○東京都北区立図書館設置条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○東京都北区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○東京都北区保健所使用条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○東京都北区区民クラブ（1）

○新社会党議員団（1）

○あすか新生議員団（4）

○民主区民クラブ（7）

○日本共産党北区議員団（9）

○公明党議員団（10）

○自由民主党議員団（11）

○平成20年度東京都北区一般会計補正予算（第2号）

○平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算（第2号）

○平成20年度東京都北区一般会計予算

○平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計予算

○平成20年度東京都北区介護保険会計補正予算（第2号）

○平成20年度東京都北区一般会計予算

○平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計予算

○平成20年度東京都北区介護保険会計補正予算（第2号）

○平成20年度東京都北区一般会計予算

○平成20年度東京都北区後期高齢者

医療会計予算（賛成多数）

議員提出の議案

○身近な地域で安心して出産ができる助産所の存続を求める意見書（賛成多数）

○地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書（賛成多数）

○中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書（賛成多数）

○輸入食品の安全確保に関する意見書（賛成多数）

○薬剤および医療材料価格の適正化など医療行政の改善を求める意見書（賛成多数）

○労働者派遣法の改正を求める意見書（賛成多数）

○独立行政法人国立印刷局東京病院の機能存続に関する決議（賛成多数）

○若者が健康で文化的な生活を営める北区のための施策を求める件

○不採択となったもの

○志茂三丁目日本化薬株式会社旧研究所跡地利用に関する件

陳20・2

※理由は願意に沿い難いため

○なお、その他の陳情は継続審査となりました。

平成19年第3回臨時会を開会しました。

平成19年第3回臨時会は、12月28日に招集されました。区長から提出された議案3件、請願1件を議決し、同日閉会しました。

「区長提出の議案」

○職員の見学休業等に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○職員の退職手当に関する条例（賛成多数）

○職員の見学休業等に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

○志茂三丁目日本化薬株式会社旧研究所跡地利用に関する件

○不採択となったもの

選挙管理委員会及び同補充員の選挙を行いました

3月21日の本会議において、東京都北区選挙管理委員会及び同補充員の選挙を行いました。当選者は、左記のとおりです。

選挙管理委員

河野昭一郎 後藤 憲司
長谷川和就 渡邊 章

同補充員

石丸 弘幸 清水 希一
志村 康夫 津田 公男
(敬称略)

ホームページのお知らせ

北区議会のホームページから、定例会の代表質問及び臨時会の映像（録画）を見ることが出来ます。また、本会議や委員会の記録が検索できます。

北区のホームページ
(http://www.city.kita-kyo.jp/)からご利用ください。

態度の分かれた案件

案件名	議員名											議決結果
	自由民主党議員団(11)	公明党議員団(10)	日本共産党北区議員団(9)	民主区民クラブ(7)	あすか新生議員団(4)	新社会党議員団(1)	北区・区民クラブ(1)	ほくと声(1)	議決結果	議決結果	議決結果	
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	可決
東京都北区後期高齢者医療に関する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
東京都北区組織条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区滝野川会館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立十条台小学校温水プール使用条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
東京都北区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成19年度東京都北区一般会計補正予算（第2号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成19年度東京都北区介護保険会計補正予算（第2号）	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
平成20年度東京都北区一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成20年度東京都北区国民健康保険事業会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成20年度東京都北区介護保険会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成20年度東京都北区後期高齢者医療会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
労働者派遣法の改正を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

※採決時は、議長（自由民主党議員団）を除きます。 ○賛成 ×反対 ▲退場

予算特別委員会

○委員会
・環境費、産業経済費、土木費

予算特別委員会

○委員会
・教育費

予算特別委員会

○委員会
・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出

予算特別委員会

○委員会
・補足質疑、討論、採決

健康福祉委員会

○委員会
・事前所管事務調査

企画総務委員会

○委員会
・事前議案審査

防災対策特別委員会

○勉強会
・過去の地震から学ぶ減災について

委員会

○勉強会のまとめ
・請願・陳情審査

議会運営委員会

○委員会
・本会議の運営についてほか

議会運営委員会

○委員会
・本会議の議決ほか

議会運営委員会

○委員会
・第1回臨時会及び第2回定例会の日程についてほか

平成20年度予算を可決しました

平成20年第1回定例会において、平成20年度予算を審査する特別委員会を開会し、各党派が予算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

なお、予算に対する態度の分かれたものについては、前頁の「態度の分かれた案件」をご覧ください。

自由民主党議員団

経済は一時期の低迷から回復基調が見られ、東京都では税収の伸びを見込んだ予算となり、その影響は北

区の財政にも反映されている。このような状況の中、持続可能な区政を保ち、区民サービスを低下させずに計画的に事業を推進し、行政改革を実行する姿勢を評価する。

平成20年度予算は、「区民とともに」を基調とした重点戦略を進めるものとなっており、評価する。

子育て分野では、「子育てするなから北区が一番」の施策を着実に進行させ、妊婦健診助成の充実、赤ちゃんほっとスポットの整備、子育てにこりパスポート事業等を評価する。

安全・安心事業では、防犯と安全に力を入れた地域安全・安心パトロール、地域防犯モデル事業等を、時代的確に把握したものと評価する。

教育分野では、「教育先進都市北区」を目指し、学力パワーアップ事業により、教育力・学習力を高め、教育環境整備を積極的に推進する姿勢がみられる。

健康施策では、33万人健康づくり大作戦を基盤とした施策の充実がみられ、インフルエンザの予防接種の新規事業等を評価する。

まちづくりでは、十条駅西口市街地再開発・密集住宅市街地整備の促進による新たなまちづくりの推進や駅周辺の放置自転車対策でも駐車場整備、撤去作業の強化等を評価する。高齢者・障害者施策では、従来の施策を充実しながら、特別養護老人

援し、その充実に取組んでいる。

「安全・安心」・快適戦略では、防犯カメラ運営補助事業の開始等区民の安全を守る各種事業が推進された。教育分野では、学力パワーアップ事業の大幅な拡充を図り、子どもたちが幸せに生きる力を育み、学ぶ楽しさを感じる学習環境の整備に積極的に取組んでいる点を高く評価する。

予算特別委員会での各種要望について、実現に向けなお一層の努力を求め、また、社会に漂う閉塞感を打開し、少子高齢社会にあっても社会を元気にする、家庭を元気にする施策に更に取組むことを要望する。

以上により、一般会計予算及び6特別会計予算にいずれも賛成する。

基金では、北区の将来を見据えたものとして、十条まちづくり、庁舎建設等への積み立てを評価する。

なお、要介護認定の問題、商店街の支援、バリアフリー計画、食の課題、税の公平負担のあり方等について、早期実現・対策を要望する。

公明党議員団

現在の経済状況は、米国サブプライムローン問題に始まり、円高・原油高等による物価高が家計を直撃し、回復基調だった景気の先行きに不安を覚え、その心理的影響が徐々に表面化している。

平成20年度予算は、「区民とともに」の基本姿勢のもと、4つの重点戦略を中心に限られた資源を重点的かつバランスよく配分し将来を見定め、生活に直結した編成となった。

一般会計予算は、これまで公明党が予算要望書等で求めてきた「子ども施策」と「高齢者施策」の拡充に重点が置かれたものとなった。

「子ども施策」では、妊婦健康診査費の公費負担を14回までに拡充し、23区トップの手厚い支援とした。また、子育てにこりパスポート事業を開始する等充実に励んでいる。

「高齢者施策」では、75歳以上のインフルエンザ予防接種の負担を無料化する等高齢者の健康づくりを支

ない中、10億円の基金を先行して積み立てる姿勢は改めるべきである。国民健康保険事業会計は、低所得者直撃の均等割の値上げや賦課限度額の引き上げから、介護保険会計は、先に述べた理由から、後期高齢者医療会計は、保険料の負担増と医療内容の低下による差別医療制度の創設から、認められない。

以上により、一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計及び後期高齢者医療会計予算に反対、他の3特別会計予算には賛成する。

民主区民クラブ

一般会計予算は、教育施策・子育て支援の充実、少子高齢化に対する配慮等を評価するが、以下要望する。

基礎自治体として主体性を発揮し地方分権推進と財源移譲の確保に努めること。北社会保険病院と国立印刷局東京病院については、二次医療機関として維持・発展できるような確保に努めること。教育の更なる充実と安心の子育て支援の拡充に力を尽くすこと。区民とともに環境対策を一層推進すること。新庁舎建設の課題を明示し調査・研究すること。商店街・中小企業への支援を積極的に展開すること。実効性ある協働の推進に努めること。十条地区再開発、防災まちづくり、立体交差化事業を推進すること。

後期高齢者医療会計は、広域連合の透明性の確保、苦情窓口の設置、負担増の軽減等を強く要望する。介護保険会計は、要介護認定の改善、24時間介護の充実及び地域包括支援センター機能拡充等を要望する。

以上により、一般会計予算及び6特別会計予算にいずれも賛成する。

4つの重点戦略を拡充・発展させる予算となり大いに評価する。

以下、改めて要望する。飛鳥山博物館の指定管理者導入は、慎重にすべきである。入札制度改善は評価するが、更なる検討を求める。発達障害児対策は事業を実施する上で重要となる人材・財政面等の支援に期待する。赤羽駅付近の自転車対策充実や路上喫煙禁止にあわせて違法な立て看板等の撤去・指導の徹底を求める。引き続き起きていく区立中学卒業生及び在校生による事件の原因を検証して、生徒指導等のあるべき姿を検討すること。

以上により、一般会計予算及び6特別会計予算にいずれも賛成する。

北区・区民クラブ

一般会計は「子ども」「元氣」の重点戦略事業を最重要にすえ、予算配分したことを評価し、基金積み立てを含めた区の財政判断を理解する。

なお、後期高齢者医療制度では医療制度改革の影響を慎重に見極めた制度のあり方を求める。また、介護保険制度については要介護認定調査に重点を置いた運用を求める。

以上により、一般会計予算及び6特別会計予算にいずれも賛成する。

予算特別委員会委員でないため、予算の意見表明はしていないが、一般会計、国保及び後期高齢者会計に反対、他4特別会計には賛成する。

予算特別委員会委員(22名)

- ◎藤田 隆一 ○近藤 光則
- 青木 博子 池田 博一
- 宇野 等 榎本はじめ
- 大島 実 黒田みち子
- 小池たくみ 相楽 淑子
- 佐藤 有恒 土屋 敏
- 野々山 研 花見 隆
- 福田 伸樹 本田 正則
- 八百川 孝 安田 勝彦
- 山崎たい子 山崎 満
- 山中 邦彦 渡辺かつひろ
- ◎委員長 ○副委員長

次回定例会のお知らせ

平成20年第2回定例会は、6月17日から27日までの11日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。

6月17日(火)	本会議
18日(水)	(本会議)
20日(金)	健康福祉委員会 建設委員会
23日(月)	区民生活委員会 文教委員会
24日(火)	企画総務委員会
26日(木)	議会運営委員会
27日(金)	本会議

議会放映を北ケーブルテレビでぜひご覧ください

平成20年第2回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録画放映します。

6月22日(日)	放映予定日時
6月23日(月)～27日(金)	午前10時～ 5時間程度 午後10時15分～ 1時間程度(再放送)

ほくと声

予算特別委員会委員でないため、予算に対する意見表明はしていないが、平成20年度一般会計予算及び6特別会計予算にいずれも賛成する。

あすか新生議員団

平成20年度予算は、新規事業やレアルアップ事業に重点的に配分し、

○戸枝大幸議員は、平成20年4月1日付で、ほくと声から自由民主党議員団に所属会派を変更しました。

区議会だより編集委員会
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
☎(03)9908-9949
☎(03)9908-0600
FAX (03)9908-0600